

【セミナーの趣旨・組織】

1. 開催の目的・意義

それぞれの拠点大学において、これまでに本プロジェクトに関連して展開してきた研究成果について発表する（招待講演）。これによりそれぞれの研究の評価と問題点の抽出・提示を行う。さらに、基調講演により、本プロジェクトの目的を明確に提示し、相互の理解とこれからの事業展開の方向性を相互確認する。今回は特にタイ国における若手研究者に一般講演やポスタープレゼンテーションの場を提供し、同国の天然物化学に新しい刺激を与える。

2. 期待される成果

1. タイ、インドネシア、インドに自生する様々な生物由来生体成分、二次代謝物に関する有機化学、天然物化学、分子生物学、微生物学を基盤とする創薬基礎研究の重要性を提示できる。
2. 国際共同研究の方向性を提示することにより、次年度の事業計画の的確な立ち上げに有用な様々な情報を提供する。
3. レクチャーシップやポスター賞は若手研究者の研究意欲向上に大きな刺激を与えることができる。
4. セミナーの要旨や **Proceeding** により、広く研究成果を公表することにより社会に様々な情報を提供できる。
5. グローバルな視野を持つ力量ある創薬若手研究者の育成につながる。

3. セミナーの運営組織

企画準備委員会：明治薬科大学 AA 創薬研究センターとチュラロンコーン大学薬学部合同

大会組織委員長： 森田隆司（MPU）、ポンペーン・プラミオチン（CU）

実行委員会： 齋藤直樹（MPU）、カニ・スワンボリラック（CU）、ルンペッチ・サクルブム
ルングシル（CU）

主催：日本学術振興会（JSPS）

協賛：明治薬科大学アジア・アフリカ創薬研究センター、チュラロンコーン大学薬学部

ジョイント：第23回タイ国薬学会年会